

輝け!! 川越の景観

屋外広告物にもルールがあります

まちづくり計画課都市景観係・TEL内線32115

私たちの住むまちや郊外の道路沿いなどには、ポスター・立て看板・広告板など、大小を問わず、多種多様な屋外広告物が出されています。

優れたデザインの屋外広告は身近な情報源として有益であるとともに、街ににぎわいや活気をもたらします。しかし、これらの広告物も、無秩序に出されると広告としての役割を果たさないばかりか、街や自然の持つ美しさを著しく損なうこととなります。また、その設置や管理が適切に行われないと、落下や倒壊によって思わぬ事故を招くこともあります。

そこで市では、川越市屋外広告物条例により、屋外広告物を出すにあたってのルールを定めています。同条例では、道路標識に類似するものや蛍光塗料を使用したものなどの掲出の禁止を定めています。また、文化財周辺や学校・図書館などは、屋外広告物の禁止地域と定めています。そのほか、地域によって屋外広告物の大き



さに基準を設け、一定の大きさを超えた場合は許可が必要な場合があります。安全で快適な住環境をつくるために、ルールを守って、川越らしい看板で彩られるまちづくりにご協力ください。

人権教育シリーズ

子どもの虐待を理解するために④

人権推進課人権推進担当・TEL内線2282

このシリーズは、昨年二月に小児科医・坂井聖二さんを招いて行った、人権問題講演会の要旨をまとめたものです。

虐待には、「身体的」と「心理的」、「虐待（作為）」と「ネグレクト（不作為）」という四つの要素があります。虐待ということばは、日本語としては踏んだり、けつたり、殴つたりという、概念を表しますけれども、いちばんわかりやすいのは身体的虐待です。でも、本日強調して皆さんにわかっていただきたいことは、身体的虐待と同時に、心理的な虐待です。子どもを脅かしたり、差別したり、脅迫したりする、心理的に非常に子どもがおびえて恐怖な体験をするのを心理的虐待といいます。子どもが骨折をするような、殴られたりひどいやけどをしたりするときに、体は痛いけれども心はちっとも傷つかないなんて、そんなバカなことではないですね。たいへんな怖い思いをするでしょうから、身体的虐待には当然、心理的虐待があらえるわけですね。

それから、ネグレクトという概

念があります。ネグレクトというのはほったらかす、何もしない、手を出さないことです。先ほどの赤ちゃんは栄養を与えてもらえませんでした。そういうことは珍しくないということが最近わかってきましたけれども、基本的な衣食住を奪われることがあります。それから、子どもが病気で病院に連れて行かない、医療のネグレクト。就学年齢の子どもを学校に行かせない、教育のネグレクト。でも、こういう子どもたちが受けるいちばん大きなネグレクトは、愛してくれない、支えてくれない、守ってくれない、そういう心理的なネグレクト。当然それは殴られている子どもたちも感じているでしょうし、ミルクを与えてもらえない子どもたちも受けるでしょう。つまり、虐待というのは必ずこの四つの要素が同時に存在しているということです。子どもたちはこの四つの虐待を同時に受けているわけですね。(つづく)

投票率向上のために

選挙管理委員会事務局・TEL内線3712

●不在者投票

特定の病院や老人ホームでは、施設内で不在者投票をすることができます。施設にご確認ください。また、投票日当日、市外に滞在中で投票に行けない場合は、公示日または告示日の翌日から、滞在先の選挙管理委員会では不在者投票をすることができます。手順は、川越市選挙管理委員会の委員長に対し、書面で投票用紙を請求します。そして投票用紙を受け取った後、投票日の前日までに滞在先の市区町村の選挙管理委員会に投票します（投票用紙に前もって記載したり、交付した不在者投票証明書を開封したりすると投票ができなくなります）。記載した投票用紙は、滞在先の選挙管理委員会から川越市へ郵送されます。



埼玉県の選挙統一キャラクター「選挙くん」

みんなの作文

カレーライス作り

霞ヶ関北小学校三年

谷口夏彩

日曜日、お母さんがいない時、ひみつでカレーライスを作りました。

はじめに、つかうものを買いに行きました。いろいろ買ったので、とても重かったです。

家に帰ったら、まずにんにくをいためました。次に、にんじん、ピーマンを切りました。にんじんはかたくて、切るのがたいへんでした。ごろごろしているのを、横にねかせて半分にしてから切りました。ピーマンは、半分に切つて、たねを出してから切りました。たまねぎは、私が肉をいためている時に、お父さん



が切ってくれました。私目がいなくなりました。

その次に、肉をいためたなべに、やさいをいれました。いろいろな物が入ってきて、まぜにくくなりました。やさいがやわらかくなったら、水を入れてにます。お米をいれて、すいはんきのスイッチも入れました。

できあがるまで時間がかかったので、私はおふろに入りました。ちょうどできあがった時に、お母さんが帰ってきました。

「カレーライス、作ったよ。」
と言ったら、
「ありがとう。」

と、とてもよろこんでくれました。 (いいことをすると気持ちがいいんだな) と思いました。お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんにもまたいいことをしたいです。今日はとてもいい日でした。

*ふりがなは広聴広報課で付けました。

ぼしゃべり倶楽部 209 植物あらかると

ヨウシュヤマゴボウ



高沢橋(元町2丁目)の近くで、ブドウのような濃い紫色の実を付けている草を見つけました。見かけからブドウの仲間かと思い、調べてみるとヤマゴボウ科のヨウシュヤマゴボウでした。



初夏から初秋にかけて、小さく白い花を咲かせ、その後、実を付けます。明治時代に北アメリカから渡来した帰化植物で、日本各地で見ることができます。この草は、毒があり食べられませんが、色づいた房を見ていると、実りの秋を感じさせてくれます。

短歌

四元仰・選

通学路あまたの子等が争いて踏みじりゆく青き落柿
腰痛とはいかなるものかと思ひおりしにわが身になりて思ひしらさる
河川敷の轍にのこる昨夜の雨退きゆく雲をしずかに映す
赤々と燃ゆる夕日に真向かいて子らはさかんにブランコを漕ぐ
声高に中間テストの良し悪しを言いつつ通る下校の子らは

俳句

石川俊一・選

公園の休むベンチに青時雨
若衆の下帯きり祭り来る
座禅する骨まで透り蝉しぐれ
十葉のひとつかたまりが匂いをり
琉球を語る青年天の川

川柳

小川正夫・選

ストレスの特効薬は孫の笑み
よく出来た嫁に甘えて暮らす日日
自惚れへ相槌だけの聞き上手
秋風に変る夕暮れ蝉が鳴く
プラモデル父がはまって子は欠伸

応募方法(11月掲載分は9月29日(金)必着)

- 短歌部門=当季雑詠3首まで、俳句部門=当季雑詠2句まで、川柳部門=雑詠3句まで
- 市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり
- ハガキに部門・作品・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広聴広報課

伊藤智恵子(上戸)
田中英子(三光町)
佐野きの江(豊田本)
金子隆俊(寺尾)
小名木たか子(豊田本)